

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

【 北九州市 】

1 実践テーマ	Ⅲ
2 実施対象者	星ヶ丘小学校 4学年・5学年 210名 (5学年は講演会のみ)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間)
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車椅子を使って生活する苦労や工夫を知り、体験を通して考え、障害をもった方たちと共生する社会について考える。 ・ 車椅子テニスの選手の方の話を聞いたり、競技用車椅子の使用体験をしたりして、誰もが気持ちよく生きるために必要なことについて自分の考えをもち、実践していこうとする心情を養う。
5 取組内容	<p>○「車いすテニス体験学習」の事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車椅子の使用体験を行い、車椅子の乗り方・介助の方法について学んだ。 ・ 車椅子を使って、生活する上で、どのような問題があるか予想し、どのような関わり方がいいのか考えたり、自分のできることについて話し合ったりした。 ・ オリンピック・パラリンピックについて学習した。 「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料」及びDVDをもとに、オリンピック・パラリンピックの理念や価値について触れ、興味・関心をもった。 <p>○「車いすテニス体験学習」</p> <p>・ 車いすテニスプレイヤーの二條実穂選手の講演</p> <p>講演内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リオパラリンピックの経験 ・ 子どものころのこと ・ けがのこと ・ たくさんの人との出会い ・ 周りの方への感謝 ・ 夢に向かって挑戦 ・ 伝えたいこと <p>児童からの質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車いすテニスと普通のテニスで違いはありますか。 ・ 車いすテニスをしていて一番良かったことは何ですか。 ・ パラリンピックで得たものは何ですか。など



・車いすテニス実演

- ・テニス経験者の教職員と二條選手で実演



児童は、競技用車いすの操作にとまどい、車いすテニスの難しさを実感していた。

- ・車いすテニス体験
テニス経験児童などが車いすテニス体験



- 「車いすテニス体験学習」の事後学習

体験学習で学んだことやこれから生かしていきたいことをワークシートにまとめて、発表し合った。

総合的な学習の時間「やさしいまちづくり」との関連で、だれもが生き生きと生活できる社会や、パラリンピックの意義について改めて考えていた。

6 主な成果

- 体験的な学習を積むことで、オリンピックやパラリンピックがより身近なものとして考えられるようになった。
- 二條選手の話から、夢をもつことの大切さやあきらめずに挑戦すること、周りの人への感謝の気持ちの大切さを学ぶことができた。
- 車いすテニスの実演により、ゲームの難しさやプレーのすごさを実感することができた。また、ルールや競技用車いすの工夫について知ることができた。
- 障害をもった方たちも、車いすの改良やルールの工夫、また周りの方の支えで、生き生きと生活できることに気づき、自分たちができることを実践しようとする意欲をもつことができた。

児童の感想から

- ・ 自分の好きなことを見つけてあきらめずにやりとげたいです。
- ・ 二條選手の「できないことは増えたけど、夢は前より大きくなった。」という話を聞いて、ぼくもサッカーでワールドカップに出たいと思うようになりました。
- ・ 困っている友達がいたら、助け合って大事にしていきたいです。

	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何か起きてもちがう方法でチャレンジすればいいのだとわかりました。 ・ これからは、自分の夢を周りの人に宣言して、友達の夢もおうえんしたいです。 ・ 自分には無理という言葉、今まではよく使っていたけど、もう言わないようにします。 </div> <p>二條選手との交流は、子どもたちに夢や勇気を与え、日常生活の中でも、友達を応援し合う姿がより見られるようになった。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京オリンピック・パラリンピックに興味をもたせるために、映像を見せたり、過去のメダリストを紹介したりした。 ○ 「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料」のワークシートを活用したり、クイズを出したりして、オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高まるようにした。 ○ リオパラリンピック4位入賞の二條選手について事前に調べておくことで、興味・関心を高めるようにした。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初めての取組であり、打ち合わせが十分できなかったため、年度当初から、分かっていたら、国語や道徳、特活、総合等で総合単元的な取り扱いがよりできたのではないかと思われる。 ○ 今後、機会があれば、本校に応じたカリキュラムマネジメントを行っていくことが大切だと考える。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピック・パラリンピックの出場選手と交流する機会は、ほとんどないので、来年度以降も機会があれば積極的に実施したい。